

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 1月29日

議 会 議 長 様

議席番号 8 番

議員氏名 上 田 聡

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 町民が望む 地域公共交通を	2023年の9月から10月にかけて実施された「町内巡回バスの見直しに関するアンケート」の集計結果を踏まえて、以下伺う。 (1) アンケートの回答数が548件となり、2015年の795件には及ばないものの、2018年の139件の4倍近い回答数を記録した。 この結果に対する受け止めや評価は。 (2) 巡回バスを利用している人は回答者の内42.5%で、2018年の56.8%から14ポイント減らしている。また、利用頻度に関しては、過去3回のアンケートを通じ一貫して、週に1日以上利用するいわゆるヘビーユーザーが2割から3割にとどまり、月に1日～2日・年に数日程度が約7割となっている。 以上の結果に見られる巡回バスの利用率の低さの原因は、問6と問7の答えに表れているが、町としては今後どのような改善策を講じようとしているのか。 (3) 土日運行や1日当たりの便数増を望む声が圧倒的に多い。特に土日運行に関しては、ワクチン接種会場への交通手段として実際に運行したように、次回の改定を待つことなく実施できるはずである。できるだけ速やかに実施すべきではないか。	町長 副町長 住民協働課長 総合政策課長 担当課長

1月29日 午前・午後 6時00分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 公共工事の適正化と建設物の安全性を担保せよ	(4) デマンド交通に対する認知度が、2015年25%、2018年54.7%とまだまだ低い中で、今回のアンケートではデマンド交通を望む声が3割を超えている。 この結果をどう受け止めるか。 (5) デマンド交通の導入に関する調査・研究の進捗状況を明らかに。 (6) 問8の質問「町内巡回バスは、現在年間3500万円の経費がかかっています。今後の町内巡回バスの運行についてどのように思いますか」については、回答に窮した。私の考えである「経費を抑えつつも利便性を向上させた方がよい」に該当する回答の選択肢がなかったからである。こうした、「利便性の向上は経費の増大に結び付く」という決めつけや固定観念に基づく質問の設定の仕方は「誘導」にあたり、改めるべきではないか。 関根建設株式会社が請負者となった、町立広島中学校校舎等改修第Ⅰ期工事（機械設備）の請負契約に係る主任技術者の配置の問題について取り上げる。 1人目の主任技術者なる関根建設の関根修氏は、杉戸管工事業協同組合の専任技術者と重複していることから建設業法違反で不適格、2人目の主任技術者なる者は、退職従業員のため不適格。これにより、工期開始の2023年3月16日から2024年1月半ばまでに至る約10か月もの期間、主任技術者が不在という事態に陥り、12月22日から翌年の1月10日までの工事停止へと至った。 これは建設業法に定める「適正かつ生産性の高い施工の確保」や建設物の品質管理と安全性を担保する上で、重大な障害になるものである。 そこで、町の見解を以下伺う。 (1) 3番目に配置された主任技術者を、なぜ最初から関根建設は主任技術者として配置しなかったのか、その理由について町はどのように考えているのか明らかに。 (2) 一連の虚偽記載には何らかの目的や意図があったのではないかと考えるが、町の見解は。	町長 副町長 教育長 建築課長 上下水道課長 教育総務課長 管財契約課長 担当課長

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
	(3) 広島中学校と東中学校のPTAには、広島中学校校舎等改修工事の請負契約に関わる一連の虚偽記載と主任技術者不在の問題について、説明や報告はしたのか。 (4) 広島中学校の校舎の安全性に問題はないのか。 (5) 私の調べでは、関根建設の関根修氏は、2021年6月1日に杉戸管工事業協同組合に入ると同時に、同組合の専任技術者となっている。しかるに関根氏は、契約工期が2021年6月7日から同年11月30日までの、関根建設を請負者とする、大字鷺巣地内配水支管布設替工事の現場代理人兼主任技術者となっている。 組合の代表理事であり、組合という営業所に常駐すべき「専任」技術者でもある関根氏が、工事現場での主任技術者を兼務することを町は認めるのか。建設業法の本来の趣旨に照らし、適正か否かどう判断するのか町の見解を明らかにされたい。 (6) 以上の経緯や県が今後取るであろう対応や処分を踏まえ、町としては関根建設に対して、どのような行政処分が妥当と考えているかを明らかに。	